



2022年2月10日

各位

会社名 アンジェス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
問合せ先 経理部長 櫻井 純

### 通期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は2021年12月期の通期連結業績予想につき、現在開発中の新型コロナウイルス感染症予防DNAワクチンの開発について臨床試験の規模や実施方法等の詳細な内容が未確定であり、また、国等からの補助金についても開発段階で、どのような公募の有無があるか不明であったことから未定としておりましたが、本日「2021年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2021年12月期と前年実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当期連結実績と前期連結実績との差異(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期連結実績 (A)	39	△ 5,599	△ 6,618	△ 4,209	△ 35.33
当期連結実績 (B)	64	△ 15,632	△ 13,588	△ 13,675	△ 92.86
増減額 (B-A)	24	△ 10,032	△ 6,970	△ 9,466	—
増減率 (%)	+60.4%	—	—	—	—

#### 2. 差異の理由

- ・売上高につきましては稀少遺伝子性疾患のオプションスクリーニング検査が当期から開始されたことにより、前期に比べ増加いたしました。
- ・営業利益につきましては、研究開発費では、主に新型コロナウイルス感染症予防DNAワクチンの開発費用の発生、販売費及び一般管理費では前期に連結子会社といたしました Emendo Bio Inc. (以下 Emendo 社といたします) 社の取得に伴い計上したのれん償却発生がありました。また、当連結会計年度より Emendo 社の業績を連結損益計算書に含めております。この結果、前年を上回る営業損失となりました。
- ・経常利益につきましては「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対するワクチン開発」に関する補助金収入及び為替差益を営業外収益に計上いたしました。一方、前期に営業外費用に計上した「持分法による投資損失(営業外費用)」は Emendo 社の買収により持分法適用の範囲から除外したことにより、当期の発生はありませんでした。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、子会社化した Emendo 社の買収以前に取得していた同社株式の「段階取得に係る差益(特別利益)」を前期に計上いたしました。当期の発生はありませんでした。

以上